

最重点プロジェクト検証

を実施

9月28日、第3回ばんげ創生まちづくり委員会が開催されました。

今回は、第五次振興計画の最重点プロジェクトの検証作業を実施しました。グループごとに意見を出し合い、検証結果を発表して全体で共有しました。

各グループの主な発表内容は以下の通りです。



◆「元気な人づくりプロジェクト」

- ・1つの学園構想として、保・幼・小・中の連携が図られており、一貫性を持った教育で学校生活をストレスなく送れるようになっている。
- ・健康で過ごすことは重要であり、若い世代に加え高齢者への食育、健診受診率の向上や住民の健康への意識を高める取り組みが必要である。

◆「0-100安心プロジェクト」

- ・子育てふれあい交流センターの設置や子ども課の新設、保育サービスの充実など、子育て環境が整ってきている。
- ・核家族化が進んでいる状況を踏まえ、子育て支援に対する考え方を整理するとともに、保護者の育児力向上を図る取り組みが必要である。
- ・高齢者への支援体制について、地域による見守りなど、地域住民が主体的に取り組めるような方策を検討していく必要がある。

◆「田舎力再生プロジェクト」

- ・道の駅の取り組みや首都圏でのPR活動は、町産品のブランド化や6次化商品の販促機会となった。商品開発や販路拡大などの取り組みは継続して必要である。
- ・認定農業者は増えているが、後継者不足の観点から、それ以外の農家への支援についても検討が必要である。

◆「あったか絆プロジェクト」

- ・学校統廃合により小学校が2校となり、地区としての意識が薄れてきている。地区の子どもにこだわらず、会津坂下町の子どもとして育てていくという視点が必要である。
- ・地域づくり協議会の活動などにより、地域内や地域どうしの交流が少しずつ増えている。しかし、イベント中心の事業になっており、提案型交付金の活用や行政区との連携など、くらしに直結した地域づくりの取り組みが必要である。



基本構想の理念

体系を検証



基本構想の理念の浸透度合い・体系(組み立て)について、ゲーム形式で質問に対して旗を上げて回答していただきながら、それぞれ意見をいただきました。

基本構想の理念については、項目によって差異はありましたが、現状ではまだまだ浸透していないという結果になりました。理念は、それに沿った住みよいまちづくりを実施していくことによ

って、町民の理解を得て浸透していくものであり、これまで以上の取り組みが必要であるとの意見が出されました。

また、基本構想の体系(組み立て)については、町民にとってわかりやすいことが重要であり、将来に期待感が持てるような一貫性のあるものにすべきであるとの意見が出されました。

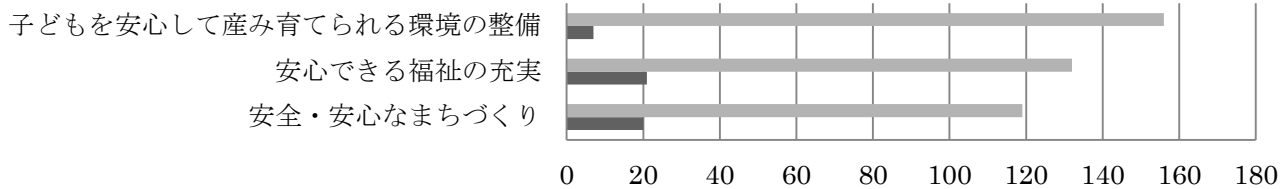
住民満足度調査結果報告

8月に15歳以上を対象としたアンケート調査を実施し、多くの方にご回答をいただき、あらためて御礼申し上げます。第六次振興計画策定の資料として有効に活用させていただきます。

町の取り組みに対する重要度・満足度についての主な回答は次の通りです。詳細な調査結果については、町ホームページをご覧ください。

町の現在の取り組みに対する重要度

■ 重要度が高い ■ 重要度が低い



町の現在の取り組みに対する満足度

■ 満足度が高い ■ 満足度が低い

